

米による戦争犠牲者である難民への欧の残酷な待遇

【訳者注】これを読む人は、こんなことは、この時代にこの世界で、あつてはならないことだと思うだろう。これは自然災害で起こったことではない。人類に悪意をもつ人間による、いくらでも避けられた、人災によるものである。しかもそのすべては、9・11 という一つのウソが根拠となって起った。これは「悪」というほとんど霊的なものを考えさせる。これ以上の悪は考えられないからである。「地獄のような」とここで言われているのは、誇張や修辞ではない。

しかもこれは今も進行中であり、誰も止められる者がいない。特に現在、イエメンからの悲痛な訴えが届いているが、インターネットによらない限り、ほとんど誰の耳にも入らず誰も知らないという恐ろしい現状がある。

こういうことに警鐘を鳴らせるのは、ほぼ日本人だけではないだろうか？ 欧米人は加害者である。ロシアや中国は悪人に擬せられている。前にも書いたように、解決の道は、何か運動を起こすことより、まず知ることであろう。敵は我々の無知を最大の武器としているのだから、その武器を奪うことが解決につながるはずである。

By Stephen Lendman

Global Research, August 21, 2015



戦争地域、迫害、あるいは貧困と失業を逃れてきた難民たちは、世界で最も歓迎しない人々だ。こうした何百万もの、アフガニスタン、イラク、シリア、リビア、イエメン、ドンバス

その他の地域から、ヨーロッパや、自分の隣国に安全な避難場所を求めてやってきた人々に対して、全面的に責任を負うべきはアメリカである。

ハンガリーは、そのセルビアとの国境に何千という警官を配備している。「ますます増加する攻撃的な難民に攻撃されているからだ」と、Viktor Orbán 首相の官房長は説明する。今年これまでに、ほぼ 13 万人がここにたどり着いた——すでに 2014 年の 3 倍の数だ。

16 万人以上がギリシャにやってきた——先月 1 カ月だけでほぼ 5 万人だった。誰も歓迎する者はいない。条件はひどいものである。

どこも混んでいるので、家族全員が戸外で眠っている。

衛生設備は不足している。医療も栄養ある食料もほとんど得られない。赤ん坊はミルクの代わりに砂糖水を与えられている。

ある UNHCR（国連高等弁務官事務所）報告によれば、2014 年末までに 6 千万の人々が、否応なく住処を後にした。地球的に見れば、122 人に 1 人が、避難所を求める避難民、または内面的に行き場を失くしている。世界の難民の半分以上が子供たちである。

先月、国境なき医師団 (MSF) は、ギリシャのドデカネス諸島にある収容センターが崩壊寸前だと発表した。<http://www.doctorswithoutborders.org/article/greece-authorities-must-improve-conditions-refugees-dodecanese-islands>

何千という難民が、収容する建物がないために、戸外か人のいない廃屋で寝ている。彼らは十分な食べ物も、きれいな水も、医療も、基本的な衛生用品もない。

Kos 島では、何百という人々が「込み合う、荒廃した建物のガラクタや壊れたガラスの散乱する」床の上で寝ている。MSF のチームは、最善の努力をして「疥癬や他の皮膚病を含む、非衛生的居住条件につながる条件の改善」を図っている。

必要不可欠な人道的な援助が、必要な分だけ得られていない。MSF の Stathis Kryoussis は、この状況を「避難所を求める人々や避難民への、ギリシャや EU の義務を踏みこむもの」と呼んでいる。

アテネの苦しい経済を考えれば、アテネが自前でこれに対処することは不可能である。EU 加盟国からの援助が必要だ。MSF のレスボス島緊急事態責任者は、「ゴミで一杯の野外や、

水も便所もほとんどない廃屋で、自分でやりくりするように人々を放置するという事は、全く受け入れがたいことで、人々の健康を危険にさらすものだ」と言っている。

仮住居、トイレット、組織的な食物配給、医療、その他の必須のものへのアクセスを絶たれた、何千という増え続ける人々がいる。

救助を求める緊急の声にもかかわらず、ほとんど改善が見られていない。難民たちは、次第に自分の力で生き延びようとしている。何千という人々が海で溺れ、飢えや、上陸地までの天候条件などで死んでいる。無事到着したのは残った人々だ。

ある7月の[アムネスティ・インタナショナル](http://www.amnesty.org.uk/press-releases/migrants-heading-europe-facing-abuse-and-extortion-balkans)の報告によると、「ヨーロッパに向かう難民たちはバルカン半島で、…官憲や犯罪集団の手による虐待やゆすりに直面している。」

<http://www.amnesty.org.uk/press-releases/migrants-heading-europe-facing-abuse-and-extortion-balkans>

彼らは EU の政策立案者によって見捨てられ、「保護されることなく、セルビアやマケドニアに足止めされている。」彼らがどこへ行こうとも、残酷な条件が待ち受けている。AI's Europe and Central Asia の副ディレクター Gauri van Gulik によれば――

「戦争と迫害を逃れようと、難民たちは、ヨーロッパに安全な場所を求めて、バルカン半島を通過していくが、その結果は、虐待と搾取、そして彼らを裏切る避難施設への犠牲である。」

「セルビアとマケドニアは、EU の誰も受け入れようとしなない、あふれた亡命者や避難民の吸集口になっている。」

両国とも「難民や亡命者の権利をもっと尊重する努力をしなければならない。しかし、ここでの人権侵害を、EU へ向かう難民や亡命者の流入というより大きなプレッシャーや、EU 難民施設の裏切りから切り離すのは不可能である。」

「ますます増えていく傷つきやすい難民や、避難所を求める人々が、バルカン半島の無人の土地に住み着くにつれて、セルビアやマケドニアへの圧力が、大きくなっていく。」

「こうしたストレスは、イタリアやギリシャのそれのように、EU の難民および避難施設政策の、もっと幅広い考え直しによってしか解決することはできない。」

難民たちは、中東、北アフリカ、トルコなどから海路によってやってきて、ギリシャを目指し、その後、陸路によって、マケドニア、セルビア、ハンガリー、その他の EU 諸国に向かう。

彼らは道中も、到着してからも、殴られる、金品をゆすられる、その他の虐待を含め、悪夢のような条件に耐えている。

前のある論文で私は、イギリスのぞっとするような避難民センターの様子を論じた。彼らは犯罪者のように、福祉や訴えの権利も奪われて、無期限に拘留されている。彼らは拷問やさまざまな他の虐待を受けている。

<http://silendman.blogspot.gr/2015/03/britain-imprisons-migrants.html>

条件があまりにひどいので、自殺を試みる避難民もいる。被拘留者は徐々に死ぬにまかされ、絶望して諦める者もいる。

別の論文では、シリアの亡命者危機を論じた。これは第二次大戦以来、最も深刻なもので、内面的にまたは外面的に土地を追われた国家人口の半数近くが、オバマの戦争から逃げて、地獄のような難民キャンプへ向かった——ほとんどは自力で、命をつなぐ最小限のものを持って。 <http://silendman.blogspot.com/2015/08/syrias-refugee-crisis-just-got-worse.html>

RT インターナショナルは、David Isaacs 博士にインタビューしている。彼は、ブリスベンの北東 3,300 kmにある Nauru 島で、オーストラリアの恐るべき難民虐待の例を暴露する牢獄を、目撃したと言っている——

<https://www.rt.com/news/312654-nauru-australia-immigrants-abuse/>

「私はあなたにこれを話すことによって、法律を破ることになり、刑務所行きになる可能性もある」と彼は言った。「そこで働く人はすべて、医者も教師も看護婦も、そこで起こっていることを話せば、2年の懲役を食らうのです。」

事態があまりにもひどいので、彼は話すよりほかなかった。ある若い女性は「首を吊ろうとした」。多くの子供は PTSD を発症している。難民たちは「精神的拷問」を受けている。全く地獄のようだ。

子供たちの書いた手紙によると、彼らは汚いテントに生活し、雨が降ると水浸しになる。事務員たちは「彼らを動物のように扱っている」。

アイザックスは、ナウルの拘留センターを「牢獄」にたとえた。ある元職員で安全保障の責任者だった人物は、匿名の条件で、水責めや他の形の拷問が行われていると言った。

5月のオーストラリア議会での訊問の結果、子供に対する虐待が盛んだったことが判明した。多くの被拘留者は性的攻撃を訴えた。が誰も責任を問われなかった。この劣悪な条件に何の変化も起こらなかった。

亡命者や避難所を求める人たちが、ますます排斥されている。特に、大抵はアメリカによって荒廃させられ、戦争に引き裂かれた国々や、他の虐待の横行する場所から逃れる避難民の数が、激増していくにつれて、それは顕著になった。彼らの長い苦悶の悪夢がいつ終わるか、見通しは立っていない。

(スティーヴン・レンドマンはシカゴ在住、lendmanstephen@sbcglobal.net で連絡できる。彼の編集者・寄稿者としての新著は、*Flashpoint in Ukraine: US Drive for Hegemony Risks WWII*. この本について詳しくは[ここ](#)を参照。

<http://www.claritypress.com/LendmanIII.html> また彼のブログ・サイトは、[ここ](#)。
<http://www.sjlendman.blogspot.com/> このサイトからハイパーリンクによって、Progressive Radio Network の“ニュース・アワー”で、週3回行われている、著名なゲストたちとの最新問題の討論を聞くことができる。)